



## Team APEV with モンスタースポーツ 2013 パイクスピーク・ヒルクライムに挑戦

地球環境の保全と持続可能な社会の実現のため、電気自動車の普及促進を目指す電気自動車普及協議会(APEV、会長:福武 総一郎)は、「パイクスピーク EV チャレンジ実行委員会」を組織し2013年6月24~30日、アメリカ・コロラド州で開催されるパイクスピーク・インターナショナル・ヒルクライムに「Team APEV with モンスタースポーツ」として再び挑戦します。

昨年からスタートしたこのプロジェクトは、同大会で6連覇中のディフェンディングチャンピオンである田嶋 伸博がEV(電気自動車)にチェンジしたことで多くの注目を集め、日本をはじめレース開催国であるアメリカ、さらにはヨーロッパでも話題となり、多くのテレビ・新聞等のメディアにも取り上げられました。また、技術的にも、日本の持つ最先端技術を結集して、従来の内燃機関車を超える性能のEVレーシングカーを開発。過酷なレースを舞台に切磋琢磨をおこなうことで幾多の課題を克服し、大きな成果を残す事ができました。

今年のレース車両「2013 Monster Sport E-RUNNER Pikes Peak Special」は、昨年モデルをベースに開発を行い、信頼性の向上と軽量化に主眼を置いて車両全域に渡る改良を加えました。その結果、大幅な軽量化を達成し、運動性能の向上に寄与しています。

また、株式会社 SIM-Drive(シムドライブ、本社:神奈川県川崎市)の技術支援により、四輪独立制御を導入。最適な駆動力配分と電力消費量の低減を実現しました。さらに、今大会からスリックタイヤが使用可能になる規則変更に合わせて、新たなタイヤサプライヤーに GiTi(ジーティー、本社:シンガポール)を迎え、綿密な協力関係によりパイクスピーク専用タイヤを開発しました。この他、多岐に渡る改良により、目標タイムを9分30秒に設定しています。

本年もまた、レースへの挑戦と共に、地球環境の保全と電気自動車の普及に関わる様々な活動をおこなって参ります。ぜひ当プロジェクトの活動にご支援・ご協力をお願いいたします。



【レース車両】



2013 モンスタースポーツ E-RUNNER パイクスピーク・スペシャル

メーカー		タジマモーターコーポレーション
ボディ	シャシー	アルミニウム スペースフレーム
	パネル	カーボンファイバーコンポジット
モーター		GKN EVO eDrive systems 液冷式モーター 2 基搭載
バッテリー		三菱重工 MLIx リチウムイオン
コントロール		SIM-Drive
ドライブトレイン	タイプ	4WD
	デファレンシャル	フロント/リヤ: ハイドロリックコントロール
	ドライブシャフト	NTN 等速ジョイント
サスペンション	タイプ	フロント/リヤ: ダブルウィッシュボーン
ブレーキ	ディスク/キャリパー	フロント/リヤ: φ355mm ベンチレーテッド /4 pot
	パッド	フロント/リヤ: Winmax
タイヤ&ホイール	タイヤ	フロント/リヤ: 330/750-20 GiTi Compete GTR1
	ホイール	フロント/リヤ: 20x11J HRE Wheels P43S Tajima Special
ディメンション		全長 5500 x 全幅 1950 x 全高 1300 mm *前後ウイング含む
	ホイールベース	2700mm



## 【ドライバー】



### 田嶋 伸博 ヒルクライム戦績

#### パイクスピーク・インターナショナル・ヒルクライム (アメリカ コロラド州)

- 1988年 ショールームストック Div. クラス 3位---
- 1989年 アンリミテッド Div. DNF ---
- 1990年 オープンラリーDiv. DNS ---
- 1991年 PPオープン Div. 3位 12分 34秒 51
- 1992年 アンリミテッド Div. クラス優勝 12分 51秒 63
- 1993年 アンリミテッド Div. クラス優勝/総合 2位 10分 44秒 22
- 1994年 アンリミテッド Div. クラス2位/総合 5位 10分 51秒 15
- 1995年 アンリミテッド Div. 総合優勝 7分 53秒 00  
※天候不順のためコース短縮  
日本人初優勝
- 1996年 アンリミテッド Div. クラス 2位/総合 2位 10分 21秒 88
- 1997年 アンリミテッド Div. DNF ---
- 1998年 アンリミテッド Div. クラス 2位/総合 2位 10分 32秒 57
- 1999年 アンリミテッド Div. クラス 2位/総合 2位 10分 37秒 35
- 2000年 PPオープン Div. DNF ---
- 2001年 アンリミテッド Div. DNF ---
- 2006年 アンリミテッド Div. 総合優勝 7分 38秒  
※天候不順のためコース短縮
- 2007年 アンリミテッド Div. 総合優勝 10分 01秒 408  
**世界新記録樹立**
- 2008年 アンリミテッド Div. 総合優勝 10分 18秒 250
- 2009年 アンリミテッド Div. 総合優勝 10分 15秒 368
- 2010年 アンリミテッド Div. 総合優勝 10分 11秒 490
- 2011年 アンリミテッド Div. 総合優勝 9分 51秒 278  
**世界新記録樹立**
- 2012年 エレクトリック Div. 予選:クラス 1位 / 決勝:リタイア

### 田嶋 伸博

(たじま のぶひろ)

1950年 6月 28日生

石川県出身/東京都在住

株式会社タジマモーターコーポレーション  
代表取締役会長

株式会社アイアールディー 代表取締役会長

株式会社 SIM-Drive 代表取締役社長

電気自動車普及協議会(APEV) 代表幹事

磐田新産業創出協議会 理事

JEVRA 日本電気自動車レース協会 理事

JAF 公認 チームモンスター 会長

東京大学 非常勤講師



## 【パイクスピーク EV チャレンジ実行委員会】

### 【実行委員会構成団体】

電気自動車普及協議会

株式会社タジマモーターコーポレーション

### 【実行委員長】

**総監督:** 福武 総一郎 (電気自動車普及協議会 会長)

～株式会社ベネッセホールディングス 取締役会長～

### 【実行委員】

**応援団長:** 鈴木 泰信 (NTN 株式会社代表取締役会長)

**ドライバー:** 田嶋 伸博 (電気自動車普及協議会 代表幹事)

～株式会社タジマモーターコーポレーション 代表取締役会長～

草加 浩平 (電気自動車普及協議会 幹事)

～東京大学大学院工学系研究科 特任教授～

藤原 洋 (電気自動車普及協議会 幹事)

～株式会社ナノオプトニクス・エナジー 代表取締役～

鈴木 高宏 (電気自動車普及協議会 アドバイザー)

～長崎県産業労働部政策監 EV&ITS 推進担当～

### 【事務局】

**事務局長** 椎木 衛 (電気自動車普及協議会 事務局長)

**事務局員** 田中郁子 (電気自動車普及協議会 事務局次長)

石倉智之 (株式会社タジマモーターコーポレーション 広報グループ部長)



## 【出場競技】

大会名: 第91回パイクスピーク・インターナショナル・ヒルクライム

開催地: アメリカ・コロラド州・コロラドスプリングス

開催日: 2013年6月25日～30日

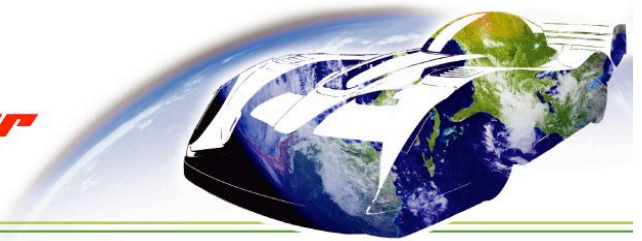
### レーススケジュール

6月24日(月)	参加者受付/車検
6月25日(火)	公式練習
6月26日(水)	練習/予選 1日目(ボトムセクション)
6月27日(木)	練習/予選 2日目(ミドルセクション)
6月28日(金)	練習/予選 3日目(アッパーセクション)/ファンフェスト
6月29日(土)	セットアップ日
6月30日(日)	決勝

出場クラス: エレクトリック ディビジョン (電気自動車クラス)

出場車両 : モンスタースポーツ E-RUNNER パイクスピーク スペシャル

ドライバー: 田嶋 伸博



## 【出場競技概要】

パイクスピーク・インターナショナル・ヒルクライムとは

アメリカ・コロラド州、パイクスピーク山の観光道路を舞台に開催される自動車競技パイクスピーク・インターナショナル・ヒルクライム（通称 The Race to the Clouds（ザ・レース・トゥ・ザ・クラウドズ））。第一回は 1916 年開催、以後戦争による中断などはありませんが今年で 90 回目を数え、単一シリーズとしてはインディ 500 等に次いで世界で五指に入る歴史と伝統を誇る。

スタート地点は標高 2862 メートル、ここから富士山よりもはるかに高い 4301 メートルの山頂までの山岳道路約 20 キロを一気に駆け抜けタイムを競う。急な坂、山肌を縫う 156 ものカーブ、薄い空気、めまぐるしく変わる天候などにより、世界で最も過酷な自動車競技とも言われる。

高地を舞台に行なわれるため、優勝を争う車両は平地で 800～1000 馬力を発揮するモンスターマシン。この強大なパワーを受け止める車両づくりとドライビングテクニックが揃ってはじめてレースに勝つ可能性が生まれる。

90 回の歴史の中で、日本人が総合優勝を果たしたのは 7 回。いずれも優勝者は田嶋伸博。田嶋の初優勝は 1995 年。そして 2006 年から 2011 年まで 6 連覇。2012 年には、オリジナル EV レーシングカー「E-RUNNER パイクスピーク・スペシャル」で 7 連覇に挑戦し、モータースポーツ界に衝撃を与えた。今年 63 歳を迎える田嶋は、今も世界で最も速い男としてパイクスピークに君臨している。



2012 年のレースの様様



【チーム公式 WEB サイト、画像等】

■チーム公式 WEB サイト

URL : <http://www.apev.jp/teamapev/>

■画像はこちらからダウンロードしていただけます

URL : <http://www.apev.jp/teamapev/2013/photo.html>



【本リリースに関するお問い合わせ先】

■パイクスピーク EV チャレンジ実行委員会

田中 郁子(電気自動車普及協議会) E-mail : [tanaka@apev.jp](mailto:tanaka@apev.jp)

石倉 智之(株式会社タジマモーターコーポレーション) E-mail : [pr@tajima-motor.com](mailto:pr@tajima-motor.com) TEL: 0538-66-0020